

# 平成27年度教育課程研修会・教育講演会 報告書

教育課程部会

- 日時 11月26日(木) 9:30～午前の部 13:30～午後の部
- 会場 私学会館 大会議室および各会議室(分科会)
- テーマ 「今後の高校教育の課題と展望」
- 目的
  - ① 教育課程に限定せず、教務の仕事全般を見渡して、研究すべき諸問題を深める。
  - ② 特に今後の高校教育改革並びに高大接続改革の動向を注視し、その行方を学ぶ。これについては、研修委員会との共催により、管理職の参加も強く促す。
  - ③ 若手の先生方も学び研究できるテーマの設定を目指す。
  - ④ 各学校の情報交換の場とする。
- 内容

《午前の部》

## 第1部 全体会

- ① 開会式 部会長挨拶  
島田樟誠高等学校 校長 吉永 清貴
- ② 文部科学省高等学校各教科等指導主事等連絡協議会の報告  
桐陽高等学校 教諭 高井 英久

### 報告の骨子

平成27年度 高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 総則部会

2015.07.15(水)文部科学省3階第1講堂

参加者：桐陽高等学校 教諭 高井英久

開会挨拶 注意事項連絡

行政説明① 「今後の教育課程の在り方について」

高等学校教育

- ①国民投票年齢が満18歳以上となることを踏まえた新たな科目(公民科に位置づけ)
- ②地理歴史科の見直し→歴史と切り離れた科目 地理の重要性
- ③より高度な思考力・判断力・表現力等を育成するための新たな教科・科目←理数系
- ④より探求的な学習活動を重視する視点からの「総合的な学習の時間」の改善
- ⑤職業教育の充実
- ⑥義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るための教科・科目等

行政説明② 「主権者教育等について」

- ①選挙権年齢等の18歳への引下げ ②施行期日 ③選挙犯罪等についての少年法の特例等
- ④民法の成年年齢等の引下げに関する検討 ⑤マイナンバー制度について

行政説明③ 「高大接続改革の実現に向けた具体的な方策について」

- ①高等学校教育の現状 ②高大接続改革の方向性 ③高大接続改革の実現に向けた具体策  
・「高等学校基礎学力テスト(仮称)」 「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の主な論点整理

<p>行政説明④ 「高等学校における道徳教育について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きる力」「学力」「基礎的・汎用的能力」「人間力」</li> <li>・「特別の教科 道徳」（仮称）に検定教科書を導入…テキスト名「人間と社会」</li> </ul> <p>事例発表1 埼玉県教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF）と連携</li> <li>・知識構成型ジグソー法を用いた協調学習</li> </ul> <p>事例発表2 神奈川県立光陵高等学校（学力向上進学重点校）</p> <p>3 つのスタディーズ…サイエンススタディーズ、メディアスタディーズ、グローバルスタディーズ</p> <p>研究協議 「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる『アクティブ・ラーニング』）」について」</p> <p>各県代表者との協議 ①方法 ②評価 ③課題 ④まとめ</p>
--

③ 県外視察研修会報告（本年度は京都市）

- ◇ 洛陽総合高等学校 専門委員 峰田 智（知徳）
- ◇ 京都成章高等学校 専門委員 村田 卓久（静岡北）

第2部 分科会

No.	テーマ	内容
1	指導要録の電子化と課題	電子化の方法，課題，実施校での経験
2	授業改善の工夫・アクティブラーニングの工夫	授業研究，公開授業，シラバスの活用，授業評価，ICT 活用授業
3	授業時数確保と土曜日の活用	授業時数確保の方途，行事計画の工夫，土曜の活用
4	学び直しや表現活動の取り組み	実践例を出し合いながら，課題と改善方法を探る。
5	教務内規・評価に関する情報交換	内規に関する情報交換，評価方法の課題と工夫
6	教育課程の工夫と課題	教育課程の見直し

※事前に各人の参加する分科会のテーマに関して，問題意識をメールで集めて一覧表にしておいた。それに基づいて各グループで情報交換ならびに意見交換を行った。

Aグループ・・・指導要録の電子化と課題

Bグループ・・・授業時数確保と土曜日の活用

Cグループ・・・教務内規・評価に関する情報交換

Dグループ・・・教育課程の工夫と課題

Eグループ・・・授業改善・アクティブラーニングの工夫

Fグループ・・・授業改善の工夫・アクティブラーニングの工夫

Gグループ・・・教務内規・評価に関する情報交換

Hグループ・・・授業改善・アクティブラーニングの工夫

### 《午後の部》教育講演会

#### 1 基調講演

演題:「高大接続改革について～制度改革で何が変わるのか～」

講師:文部科学省 高大接続システム改革会議委員

リクルート進学総研 所長 小林 浩 氏

#### 2 講演②

演題:「高大接続改革を見据えたリクルート社による サポート体制方向性」

講師 株式会社リクルートマーケティングパートナーズネットビジネス本部・事業開発室

高校企画開発部全国エリアリーダー 竹内孝太郎 氏



### 《アンケート結果》

#### 1. 全体会の感想

大変良い	ほぼ満足	やや期待はずれ	良くなかった
14	18	0	0

#### 2. グループ討論

大変良い	ほぼ満足	やや期待はずれ	良くなかった
17	11	4	0

#### 3. リクルートの講演会

大変良い	ほぼ満足	やや期待はずれ	良くなかった
9	17	6	0

## 回答の中のご意見（抜粋）

### 1. 全体会の感想

#### 【満足度の高かった方の意見】

- 文科省の動向や他県校の取り組みが良くわかった。
- 高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会総則部会報告のレジュメ・内容説明共に大変わかりやすかった。
- 県外視察報告をしていただいた、2校共に大変興味深い話を聞け、今後の参考になった。
- 他県・他校の取り組み、今後の課題等を知ることができました。
- 連絡協議会の総則部会における「アクティブラーニング」の位置づけや評価の考え方について情報を得ることができた。また、視察報告から特色ある学校の様子が聞けたことが非常に良かった。
- 京都への訪問報告を聞き、本校の現状に似ている学校と今後目指す進学校という2校の話を聞け、今後の学校運営に大きく役立てることができそうである。
- 文科省の報告を聞いた上で、リクルート小林氏の話聞き、スムーズに理解ができた。
- 京都成章高校の報告事例が大変参考になった。
- 県外視察校の発表が良かった。静岡県では見られないような学校であり、学校経営の視点が独特であり、興味深かった。
- 文科省指導主事協議会の協議事項が知れたことは有用でした。また県外私学の事例紹介も簡潔に報告して頂き参考になりました。
- 県外視察の2校が好対照で示唆に富んでいた。連絡協議会の報告も興味深く、特にアクティブラーニングの話は今後の手がかりになると思う。
- 各報告について、興味深く聞くことができました。
- 日々の業務に追われる中で、一日きちんと法令や他校の取り組み、最新の社会情勢を学習することはとても有意義である。
- 文科省の説明報告や県外視察の報告は、本校の教育課程改定時に参考したいと思いました。

### 2. グループ討議の感想

#### 【満足度の高かった方の意見】

- 各校の実情と課題が把握できた。時間を延長しても良いグループだった。
- 他の学校との交流がないため、教務内規についても聞く機会がなく、本校の教務内規が他校に比べてどうなのかが分からなく、疑問に思っていた点が今回の研修会で多少なりとも知ることができ満足しました。正直言えばもう少し時間がほしかったです。
- いろいろ有意義な意見交換ができた。
- 毎年、一番有意義な時間である。他校の先生方と様々な情報交換をすることができ、いつも時間が足りないと思うくらいである。
- アクティブ・ラーニングへの各校の取り組みについて情報共有できたから。
- アクティブ・ラーニングへの取り組み、ICT活用について他校の現状を聞くことができ、参考になった。
- 各学校の取り組みや問題点や悩み等をざっくばらんに話せたことが大変有意義だった。
- 授業時数の確保や、今後本校も検討すべき土曜日登校について、話を聞く事が出来ました。また、他校の様子を伺い、大変刺激を受けた。ALについて取りかかる方向性のようなもの

を感じる事ができた。

- 他校の現状を知ることができる数少ない機会を頂きありがたく思いました。
- 指導要録の電子化に伴う疑問点を解決できた。
- 日頃、疑問に感じていることを情報交換することができ、大変参考になりました。
- それぞれの学校で苦労している点があり、なかなか相談しづらい中でこのような機会があり、非常に助かった。
- 同じ静岡県に所在しながら交流がなかったり、知り合いがいなかったりすることはとてももったいないことである。ここから交流がはじまれば、どんなふうになるか楽しみである。
- アクティブラーニングについて、他校の取り組みや問題点をうかがい知ることができました。また、自校での将来的な活用法も考えることができました。
- 他校の課題や実践例を聞くことができたから。

### 3. リクルートの講演について

#### 【満足度の高かった方の意見】

- わかりやすい説明と、現場に即しての説明、とてもありがたかったです。
- 改革会議委員の小林様の話は良く理解することができ、まさに現場の人に講演していただければ、有意義な時間を過ごすことができたと思う。
- あまり具体的にならなかった内容を知る事が出来ました。
- 前半の小林氏の内容が分かりやすく、国（行政）がどのような様子であり、どのような方向に動いて行くかを知ることができたから。
- 今後の高大接続改革については断片的な情報しか知りませんでした。計画の背景まで詳しくお話しいただき、大変参考になりました。
- 高等学校基礎学力テスト(仮称)や大学入学希望者学力評価テスト(仮称)をはじめ、私自身がまだ見えていなかった部分について、直接お話を伺え、先の見通しを少し持つことができたため。
- 2020年度の大学入試制度改革は、日本の高等学校全てに関わる大問題である。これを成功させられるかどうか、一校一校、教員一人一人の意識だと考える。日本を背負う若者を育てることを真剣に考えたい。
- 小林先生の基調講演は、たいへん勉強になりました。
- 会合のメンバーである方のお話が聴け、どのような経緯で制度改革をしているのか、また、具体的に何を改革しようとしているのかなど、まだ結論は出ていないが、方向性が見たことで、教務として準備しておく方向性が少し見えてきました。

### 4. 全体を通じての感想

- 今抱えている課題等共有でき有意義な研修であった。
- ICTは私学にとって現実的なものなのか疑問である。アクティブラーニングは現在も教育活動の中に取り上げられていると思うし、高等学校において今以上のことを求めるのならばそれぞれの私学の求めるもの（教育内容）と合致しないことも十分考えられると思う。
- 県内外を問わず特徴ある教育活動をおこなっている学校をもっと知りたい。
- グループワークは同じような立場で話ができ、新しい情報が得られ助かります。
- 高大接続・新テストに向けての動向は非常に重要なので、定例の教育課程研修会以外にも情報収集の機会があると有難いです。
- グループ研修は、有意義でした。昼食を共にし、テーマを午前・午後に分けても内容は充実す

ると思います。グループワークの継続をお願いします。

- 「京都成章高等学校」の取り組みがとても興味深い内容だった。
- 分科会での意見交換がとても有意義であった。テーマ以外の話題もあり、貴重な情報交換の場となった。
- 分科会が大変盛り上がり、情報共有という点で有意義だったのでもう少し時間が欲しかった。
- 毎回、有意義な研修会で感謝しています。個人的には、教務の仕事が解らなくても良いので、そろそろ次代の人の参加を考えています。
- アクティブ・ラーニングの取り組みについては、どこの学校もまだ途上であった。現在、本格的に実践している学校のお話をききたかった。
- 県外を含め、他校の様子を知る良い機会となりました。
- 高大連携の情報を小まめに共有できる機会になって良かったです。このような機会をもっと増やしてもらえたらと思います。
- 委員の皆様、担当係の皆様、良い研修の機会を頂けたことに感謝いたします。
- どなたかの事前アンケートにあったように、分科会でもテーマについて対応策を取っている学校にも参加していただけたら、議論がすすみ、より有益なものになると思う。
- 現在知っておくべき内容ばかりで、良い勉強になりました。
- 充実した内容の研修会を企画していただき、誠にありがとうございました。
- かなりボリュームのある研修会でした。今後ともよろしくお願いします。
- 細やかなところまでお気遣いいただき、ありがとうございます。ここで学んだことを学校で活かしていきたいと思います。
- 講演②は、もう少し時間が短くてもよいかと思いました。その分、基調講演はもう少し長いと嬉しいです。
- 他校の様子を知る機会にもなり、自校の問題点や可能性を考える、良い機会になりました。来年度も是非、参加したいと感じています。
- 教務課長の代理として、初めて教育課程研修会に参加しました。県外視察やグループワークでは、他校の事例(取り組み)が聴け、本校でも取り組みたいことや教務課としてどのように取り組むべきかなどを考える機会になりました。また、高大接続改革についても、方向性や具体性が聴けて、講演の内容を学校全体で共有できればと感じました。

【記録：専門委員 まとめ：副部会長 島田樟誠高等学校 教諭 富澤富二雄】